

♪ 発達段階に応じた歌声づくりのステップ♪ (学年は目安)

小1 → 小2 → 小3 → 小4 → 小5 → 小6 → 中1 → 中2 → 中3

☆一人ひとりの声の特性などの実態を捉えて、活動を工夫したり適切な指導を行ったりすることが大切です。

step.1

体の使い方に慣れ
しっかりと声を出す



step.2

音程をコントロールして
楽曲や曲想に合う声で歌う



変声

step.3

楽曲や曲想に応じた
響きのある声で歌う



step.1

下の声の発声
に慣れる

step.2

音程をコント
ロールして歌う

step.3

楽曲や曲想に応じた
響きのある声で歌う



♪ 歌声とともに育てたい
児童生徒の姿♪

・歌うことが大好きになる

・表現する楽しさを味わい
進んで歌う

・歌うことを通して音楽
の豊かさや素晴らしさ
を感じる

・表現する喜びを感じとり
主体的に歌う
・多様な表現のよさに気づき
新たな価値感を形成する

「学びを深める」視点の例

曲や演奏のよさなどを見出しながら鑑賞し、音楽全体を味わって聴く楽しさを感じる

「きらきら星変奏曲 第二変奏」を副教材として用い、『変奏曲』とは何かを理解させる。

変奏と主題との比較聴取により、音楽を形づくっている要素が、どのように変化しているかを聴き取らせる。

第二変奏だけ聴いた後に、そこに主題をピアノで重ねて、もう一度演奏を聴いてみると・・・曲名が分かりましたね！

それぞれの変奏の特徴を基に、『変奏』に名前を付ける活動や、順番を考える活動を設定し、音楽を形作っている要素の働きによる曲想の違いや楽曲全体の構成をとらえさせる。



この題材で身に付けたい【知識】の例

- ・『変奏曲』の意味、特徴
- ・『ピアノ五重奏』の意味、使われている楽器
- ・『シューベルト』の人物像
- ・『ます』が作曲されたエピソード
- ・音色、旋律、強弱、調などの音楽を形づくっている要素とその働き

音源のみを鑑賞し演奏者の人数を考える活動を設定し、『ピアノ五重奏』で使用されている楽器などについて関心を高める。また、映像資料を視聴し、演奏形態による特徴について理解させる。

なぜ作曲者がこの順番で変奏曲を構成したのかを考えてみよう。みんなが考えたことと似ている部分はありますか？

DVDを見て楽器の大きさなどを比べてみよう。また、それぞれの変奏で活躍する楽器は何でしょう。

主題と比較して、音色や強弱がどのように変化していますか？〔音楽のもと〕を手掛かりに分析してみましょう。

「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の比較鑑賞で、学びを深める

「学びを深める」視点の例

音楽と社会や文化との関わりなどに目を向け
音楽のとらえ方を広げる

物語そのものの面白さや登場人物像、時代背景などに触れ、歌舞伎に関心をもたせる。

オペラとの比較鑑賞を通して、総合芸術としての共通点・相違点、時代背景や文化との関係性を考えさせる。

打合せ、塩梅、千秋楽…案外、歌舞伎由来の言葉は、身近にありますね。

現在の生活の中でも使われている、歌舞伎由来の言葉について触れ、生活や文化との繋がりについて考えてみよう。

歌舞伎がシンプルな舞台装置である理由を考えてみましょう。

この題材で身に付けたい【知識】の例

- ・「歌舞伎『勧進帳』」及び歌舞伎音楽の特徴
- ・他の音楽や芸術作品との共通点・相違点
- ・時代背景や文化、歌舞伎との関わり

長唄、囃子、黒御簾音楽を聴いたり演奏を体験させたりする活動を設定し、歌舞伎音楽の特徴を実感させるとともに、歌舞伎における音楽の役割について考えさせる。

役者の衣装や化粧、セリフ回しや見得を切る場面などに注目して鑑賞させ、歌舞伎の楽しみ方を広げる。

音羽屋！！
高麗屋！！

有名な歌舞伎役者や屋号などを調べ、役者の個性や表現の多様性について考えてみましょう。

ヨッ！！
成田屋～！

歌舞伎「勧進帳」で、学びを深める